

帝大に心理學專攻の秀才
許婚を断られた遺恨から
夫婦を惨殺して縊死

高田老松町に起つた慘劇…東京加害者片上早大教授の實弟

十一月十日午後七時半頃小石川付近高田老松町十七番地橋本武一(妻せん子)の兩人が暴徒連鎖家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾が

ある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

(土)は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

都、英語ギリシャラテン語として發音上から比較對照して發音上からも元來言葉の一元論者である

遠別家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾がある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

(土)は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

夫婦を惨殺して縊死

高田老松町に起つた慘劇…東京加害者片上早大教授の實弟

十一月十日午後七時半頃小石川付近高田老松町十七番地橋本武一(妻せん子)の兩人が暴徒

連鎖家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾がある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

（土）は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

夫婦を惨殺して縊死

高田老松町に起つた慘劇…東京加害者片上早大教授の實弟

十一月十日午後七時半頃小石川付近高田老松町十七番地橋本武一(妻せん子)の兩人が暴徒

連鎖家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾がある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

（土）は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

夫婦を惨殺して縊死

高田老松町に起つた慘劇…東京加害者片上早大教授の實弟

十一月十日午後七時半頃小石川付近高田老松町十七番地橋本武一(妻せん子)の兩人が暴徒

連鎖家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾がある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

（土）は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

夫婦を惨殺して縊死

高田老松町に起つた慘劇…東京加害者片上早大教授の實弟

十一月十日午後七時半頃小石川付近高田老松町十七番地橋本武一(妻せん子)の兩人が暴徒

連鎖家に寄宿して居た府下北島郡赤塚村字成増常大文學部哲學科三年生の内仁(三)の爲に

短刀を以て惨殺され仁は直ちに同二階にて絶命を遂げ精弾がある間に妻の死體は庭付に倒れて

妻の間に二男一女あり長男矢

一は母下福岡なる九州大學醫學部に次男音次は第一高等學校の文科に就れも在學し

（土）は下谷池の端なる市立第一實科高等女学校に通學して居たのであるが竹内は非常の秀才である爲に

夫婦の眞弟で橋本家と同居して

長女治子を娶はす事に約束し竹内も

同居して帝大へ

通學して居た處が竹内は物販

業者に其の間の處に倒れて居たので近所では何事か

が血に彩られて乗るあつたので

大騒ぎとなる猶二階で

間違ひだらう打消しながら

それでも研究論文の大和言葉

の研究の面ある氏は

新體人として往々藤村氏と並んで

其の間の處に胸部を抉られて

云ふ如きの如く夫婦は頑として

夫婦を離れた竹内は妻せん子はそれと並んで左乳下心臓を突かれて打伏せに何れも絶命し

「ナニ早朝渠文學から博士の推

が血に彩られて乗るあつたので

驚いた既に締切て居たので直に所轄大警察署急報した同署から

は直に警視廳へ通牒する共に

夫

刮目すべき 不櫻野球戦

▲天下分目の櫻ヶ原
競技場、そこは實に之れ、天下分目
の闘ケ原なので此の一戦に於て
アームなるフローリン(音楽部)の比
争を以て、般戦場を経験せる櫻軍を
收ひ再戦して須市に捷し博しけ
るが櫻軍とてもまた老朽の樓臺
軍を敗りて陣容更に堅固なるも
のあり、殊に今度の試合はフロ
ンの對して雪屋戦なれば、櫻軍
も隨つて當面異なるものな
く更にエルニム自傳車店にて
無線電話をグラウンド近くに設
置して興を添ふべしと云ふ。

●祝賀會の第一夜

來會の男女一堂に溢る

當市佛教青年會及學友會の創立

皆週年記念祝賀會は昨日の午
後七時半より櫻園にて開かれ
珠式あつて後兩軍體育に見ゆ
たるが來會の男女一小供室に沿
るに既に胸底に湧き沸ざる思
ひあり此日當市あ柴太郎氏の始
軍に對して雪屋戦なれば、櫻軍
も隨つて當面異なるものな
く更にエルニム自傳車店にて
無線電話をグラウンド近くに設
置して興を添ふべしと云ふ。

●不村日會の提案案

來會の男女一堂に溢る

當市佛教青年會及學友會の創立

無線電話をグラウンド近くに設
置して興を添ふべしと云ふ。

●祝賀會の第一夜

來會の男女一堂に溢る

當市佛教青年會及學友會の創立

自活する女